

# 十月及び十一月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園 卜 部 た み

十月の主材

○遠足、散歩

○花壇の手入

○飼育動物の世話

○木の葉遊び、その他

(落葉、落花拾ひ)

○十月生れの誕生會

○遊戯練習會

○秋について

更衣、町の變化

秋の庭——種々の果物、草花、霜よけ準備

秋の田園——蟲類、鳥類

天候等

十一月の主材

○冬の仕度(寒さの準備)

○七五三のお祝ひ

○開校園記念日

○十一月誕生會

○園外保育

○飼育動物或は花壇の世話

○初冬の景色

(イ) 落葉

(ロ) 霜

(ハ) 霜よけ

(ニ) 木枯

(ホ) 氷

(ヘ) つらら

(ト) 殘菊

(チ) ダリヤ

(リ) 椿、さざんか

(ヌ) 紅葉

(ル) 錦木

(ワ) 冬葵、冬ばら

(ワ) 果物(みかん、さんかん) 其他 カ) 渡鳥

曜 週	第一	第二	第三
1	<p>自由遊び                      積木、切紙、繪、花壇砂場                      等、十月になつた話、服装                      季節、果物等につき                      校内散歩、觀察                      遊戯、唱歌練習                      自由遊び(此間に文字調査)</p>	<p>自由遊び(同前)八時四十分                      より、白山、聳岬學校庭へ戸                      外保育                      廣い庭、高臺よりの見晴                      山、樹木、池、鯉、草花等                      運動遊具、リレー唱歌遊                      戯とんぼ其他蟲追ひ、ボ                      ール投げ                      十一時半歸園                      自由遊び(主に繪をかく)</p>	<p>自由遊び(文字調査)                      昨日の記憶畫を二の粗が                      書くをみてまねるもの多                      し                      談話、(日本一の飛行機)                      折紙及繪に入る、                      (主に飛行機及それに                      關するもの)                      校内散歩(寄宿舎の庭)</p>
2	<p>自由あそび                      昨日生活發表(幼兒、保姆)                      談話、繪による                      遊戯唱歌、練習                      カード遊び、籠ボール                      遠足についての話(諸注意)                      (天候てるく坊主の話、歌)</p>	<p>遠足                      午前七時三十分大塚驛集合                      八時池袋發                      豊田半石神井着                      近くにて芋掘り                      自由遊び                      午後二時四十分大塚驛解散</p>	<p>談話、繪、切紙等凡て遠足                      に關するもの                      續いてお月見の話、仕度に                      入る、                      折紙(柿)を新たに教ふ                      遊戯、唱歌練習</p>
3	<p>自由遊び、日曜の話及び十                      月お誕生會に祝はれる人に                      ついて                      贈りもの作り                      手技 室内裝飾の繪つなぎ                      會にするお話、唱歌の練習                      運動會にする遊戯練習                      雨の話(幼兒ながらも天                      候をきづかふ問答多し)</p>	<p>自由遊び、昨日のつゞき                      手技                      折紙、切紙、繪、粘土、豆、キ                      ビガラ、紙テープ等                      談話(レレ、メンの音楽師)                      自由あそび                      會にする唱歌、お話遊戯等                      カード遊び、籠ボール、綱の                      スカンジナビヤマーチ練習</p>	<p>誕生會(尋一プログラム作                      る)                      談話(保姆其他の人三                      名)幼兒五名                      唱歌(獨唱、合唱等もあ                      り)                      本よみ、遊戯 お話、遊び                      午後 スカンジナビヤマ                      ーチ、其他練習</p>
4	<p>自由遊び                      (主として旗作り)                      前日の續きをなし出來上                      りしものつなげて室内廊                      下等にかざる                      談話、夢の話                      (夢て動物の運動會に行                      ったお話)                      遊戯、唱歌練習 同前プロ                      グラムの話</p>	<p>運動會豫行</p>	<p>自由遊び (積木、砂場、運動                      具遊び)                      旗作りのつゞきに導く應                      援の旗一本宛持つ                      校庭—銀杏寺散歩                      談話(運動會について)                      (天候について問答あり)</p>

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び (主に運動具、繪) 唱歌飛行機(新授)他練習 遊戯練習 色カード遊びリレー等 自由遊び (積木、繪、砂場、まゝごと) 談話(遠足)</p>	<p>自由遊び (主に繪、切紙積木) 八時四十分より 音羽護國寺境内へ戶外保育 午後一時歸園</p>	<p>自由遊び中に昨日の問答及繪に入る (記憶畫觀念畫) 砂場遊び (山、川、庭つくり) (走り幅飛び) 唱歌飛行機練習及其他 遊戯同上(新授) 其他の練習</p>
2	<p>自由遊び、二の組にまねて 汽車遊びに入る 切符作り、お金作り、 プラツトホーム作り 二の組と交々お客になる 漸次に二組の分擔に加へ てもらふ、 唱歌、汽車(新授) 談話、狸々の旅行</p>	<p>自由遊び中一部分の子供桃太郎のお話遊びをなす、後全體演者とときゝ手にわかれて遊ぶ 續いて兵隊、花のソングブ 手技、犬、猿、雉子の冠作り 自由遊び(食後も暫く續く) 唱歌汽車、練習 遊戯練習</p>	<p>自由遊び (リレー、ボール投げ、綱引) 談話(象と鯨の綱引) 遊戯練習會(尋一、幼合同) キングアポルカ、飛行機、月夜の兎、桃太郎、牛若丸、びよん太郎、ピアノ兵隊等既習のものを行ふ</p>
3	<p>自由遊び 午前八時半出發 江戸川公園へ戶外保育 十一時半 鶴巻小學校 屋上にて晝食 一時半電車にて歸園</p>	<p>自由遊び、男兒は殆ど昨日鶴巻で見た劍道をまねて遊ぶ、繪、自由談話、電車遊び、まゝごと、 電車遊びを比較的系統的に指導す。 切符作り、車庫作り 方向作り、お金作り 停留所問答 午後遊戯練習</p>	<p>校内散歩、校門前往來觀察 (主として色々の車についで) 繪(電車、自動車多し) 談話(運動會のたのしみ) その仕度として旗作り (半紙一枚に圓形を書き與へ中を塗らしむ)</p>
4	<p>運動會 (附屬小學校と合同)</p>	<p>自由遊び 運動會に就て昨日の校内新聞を室内に貼り問答、繪、談話に發表せしむ 十月分身體檢査 自由遊び 籠ボール、色カード遊び其他</p>	<p>校内一銀杏寺散歩 銀杏の色、菊、山茶花、もくせい等サルビヤの落花、櫻の落葉其他の落葉を拾ひ、綿の上にならし或は紙に貼り落葉の展覽會をなす</p>

曜 週	第 一	第 二	第 三
1	<p>自由遊び(日曜生活の話) 本校々庭より寄宿舍の庭へ 落葉拾ひにい 銀杏、樺、榎、紅葉、菩提樹 ほか桐の實どんぐり、其他 採集物をならべて遊ぶ 紙、紙アール等より葉を製作 唱歌、をどれ(新授)葉を製作 遊戯同上 其他練習</p>	<p>自由遊び 砂場、積木、繪、貼紙、紙テ 唱歌、をどれ(指導)練習及 其他、 談話、ブレイメン音楽師 音と聲のきき分け遊び 自由遊び 幼二の樂隊をきかしむ リレー 綱引</p>	<p>明治天皇祭 (明治天皇の御聖徳のお話) 後本校小學校の運動會を 見て歸る。</p>
2	<p>自由遊び 昨日の生活發表繪による 後その繪の話をせしむ ○ピョン太郎カルタ ○樂隊(シンバル、トライア ソングル)指導、文字合 ○貝合せ(色合せ、エブ 目合せ)お迎へごつこ メント、帽子、上靴、エブ ロン等により仕度せしむ 唱歌、遊戯(同前)ボール投 げ、ボールさがし</p>	<p>自由遊び 花やごつこ(校庭、銀杏寺 落葉遊びを机にならへ賣 ○落葉落花を机にならへ賣 買遊びをなす ○ついでに備用紙五色紙等 にて花をつくりて加へる ○どんぐりのコマ、栗の實 にてカニ其他を作る、唱歌 おどれ一二段其他遊戯練習 折紙(紙風船)おみやげとす</p>	<p>自由遊び 昨日のつき(花やごつこ) より植物園ごつこに入る (砂場、草花園ごつこカニ等) 一、二組合同して行ふ 飯事案内人、其他 談話(赤やん羊) 自由遊び(貝合せ)ピョン太郎 カルタ、唱歌、遊戯おどれ第三段</p>
3	<p>自由遊び(同前、小鳥觀察) ○七五三祝ひの贈物づくり 續き まきとめて包装して宛名を かく ○お祝の會(挨拶、贈物、談 話) ○午天神(参拜(觀察) 遊戯)既習の練習</p>	<p>昨日のお祝の子供の話 ○(神社参拜或は家庭の話) ○昨夜のあらしの話 談話(天狗喰ひの話)より 繪に導き内容に關し自由に 校内散歩(本校庭) 「リレー走市とび」第一段 唱歌(キュービー)第一段 樂隊遊び</p>	<p>自由遊び 遠足ごつこ 汽車、省線、市電になる切 符造り、列をつくつて歩 く、送りむかへ、おべん 當造り等 遊戯キュービー第一段 其他練習 談話(明治神宮参拜につ て)</p>
4	<p>自由遊び 十一月生れの方(贈物造り 室内裝飾のお手傳ひ(手技) お話、遊戯、樂隊、其他練習 談話、雀のお宿 唱歌(雀)新授 自由遊び</p>	<p>昨日のつき、贈物其他作り 散步(校内) 空、雲、太陽、池、七面鳥、 文鳥、カナリヤ、雞、其他 花壇の草花木々の葉の色 等觀察せしもの名を順 物まはしむ ボール投げ 自由遊び 唱歌、おどれ、キュービー雀 其他練習 明日の練習</p>	<p>自由あそび 誕生會準備 十時より誕生會 (實習生送別會も兼ね) プログラム略 自由遊び</p>

曜 週	第 四	第 五	第 六
1	<p>自由遊び 昨日の話、或は繪とて發表 其他の繪、面造り、目鏡作 り 談話(太郎の笛) 二の組の樂、遊びをきく (シンバル、トライアング ル、太鼓) 指導 唱歌(おどれ、其他 遊戯)おどれ、其他 明日(園外保育)の話</p>	<p>午前九時出發。九時半着。 廢病院行 庭園、草花、樹木、紅葉、飼 育動物、鳥類、蟲類、其他 の觀察 (唱歌、遊戯、運動、練習)</p>	<p>自由遊び 談話(豚の兒の話) 園畫に導く 唱歌(花)數(遊びの歌(兵隊、 おどれ第二段に入る 遊戯 同上及其他</p>
2	<p>自由遊び 談話(お囃の卵)子供の國より 話の内容から解決へと要 求する子供は次々と想 像するを繪に發表せしむ 卵、お日様、風、お月 様等 是を室内に貼り又一しきり それにより語る 自由遊び (スプリング、旗送り、 カード遊び)</p>	<p>自由遊び 焚火にあたりながら談話 (七五三のお祝其他) 五つ、七つの方に、お祝の贈 物作り、園畫、折紙、等手技 指導 唱歌(おどれ、其他練習) 遊戯(おどれ、其他練習) 自由遊び 砂場、花壇、小鳥、其他</p>	<p>自由遊び 昨日のついで(贈物づくり) 手技 散步 小學校庭より、校舎内各教 室を巡る 標本室、理科室、裁縫室等 に入り、問答 唱歌、遊戯、練習 談話(日曜日のためのしみ)</p>
3	<p>明治神宮(園外保育 九時七分大塚發 九時廿七分原宿着 神宮參拜、境内めぐり 食事(十一時卅分) 寶物堂前庭園、代々木原 二時五分大塚着</p>	<p>自由遊びから昨日の記憶畫 觀念畫、をか、しむ 飛行機、騎兵、鳥居、拜殿、 五重塔、池、金魚、紅葉、タ ンク、電車等 談話(虎の明神) 唱歌(遊戯キユービ第二段 其他練習) 散步 (傳通院より澤藏司方面)</p>	<p>自由遊び(談話) いよゝ寒さに向ふ ストウブ、火鉢設備 等 の事 風水、外套絡入の事 數(遊びの歌、花冠帽子作り それを使って遊ぶ 其他遊戯練習)</p>
4	<p>自由遊び(同前) ジョン太郎カルタ 談話、三匹熊 お話遊びに導く問答 (保姆對幼兒、幼兒と幼兒) 園畫に入る 熊のお家、スプリン、皿、 椅子の大小、中、小等 唱、遊(雀外練習)</p>	<p>自由遊び お話遊び(三匹熊ついで) 桃太郎 遊唱、(同前) 身體検査、(十一月分)</p>	<p>自由遊び 砂場の掃除の手つたひ 散步(觀察) ザクロ、錦木、つらら、霜 柱 霜枯れの菊、ダリヤ 銀杏、其他 校門前の往來 談話、お友達 唱、遊、練習</p>

生活全體が遊戯である子供にとつては、子供の遊びをうまく指導する事が教育である事は、前にも申上た通りで御座います。

特にその精神生活は主として感覺の世界に限られてゐる此の時代の子供には、感覺の練習は最も必要な事で、なほ其の心身の發達のために、眞の要求する處即ち子供の本能活動の現れ、その傾向、その種類に注意し、どんな動きに最も興味を持つてゐるかといふ點を考察し、絶えず其指導に工夫していき度いと存じます。

此度は日誌の摘記の代りに、そんな意味で扱つてゐる前記表の中に記しました遊び即ち「ボール遊び」又は「色カード遊び」「お話遊び」等について、順に御話申上げ御批評を願ふ事といたします。

先づ初めに色カード遊びから申上げます。

### ○色カード遊び

入園當初の幼児の中には、色の觀念のはつきりしてゐない者が多う御座います。尋常一年に初めて入つて來た子供の中にも七色圖に就てその名稱を正しく云ひ得ない者が少くありません。殊に綠と青、黄色と橙色等の區別は困難なのがある様に思ひます。

折紙をする間に、色板其他の恩物を扱ふ間に、クレオンを使ふ間に、玩具をもてあそぶ間に、其他あらゆる環境から絶えず色についての問題は取扱ふ事が出來ます。幼稚園として比較的團體遊びの中に興

味をもつて運動しつゝ大切な基礎觀念を養つていく様色覺の練習を織り込んだ遊びが是れてあります。  
用具即ちカード。

大きさ。(縦十七糎、横十二糎位)

色(赤、紫、青、緑、黄、橙)以上六色を一組とす。

數(幼兒一名につき一組を要する場合もあれど、凡そ一組三十六名に對し七八組位)

遊び方、I(色合せ)I.

一、列圓形に子供をならばせ、その中央に赤、青、黄のカードを置く。或は一列横隊に整列、適當の距離をおいた向側線上にカードを置く。凡そ二十名宛を限度とし、一組の人數多い時は男女別にするもよろし。

一、「ヨイドン」等の合圖でカードの處へ走り行き自分の好きな色一枚をとつて來させる。

一、取つたカードを高くあげて互ひに見合はせ同じ色の者同志一つ所に集り名をいはせる。

(色の名稱は初めのうちはむりにいはせずともよろし)

之を反覆しつゝ次第にカードの數、色の種類を増す。

遊び方、II(色調べ)

圓形にならばせ、圓内にカードを散らしおく。合圖により次の事を繰りかへさせる。(配列は色々あるが初めは圓形が便利である)

一、好きな色を拾つて来て高く舉げて順に色の名を云ふ。

一、指揮者の示す色、或は呼びあげた色を持つてゐる者は高く舉げる。

一、二色の名をよばれてとりかへる。例へば「赤と緑」ときけば、赤をもつてゐる者と緑を持つ者と、カードをとりかへる。

一、異色のカード二枚拾ふ。順次数を増す。

一、同色のカード二枚、それと異なる色一枚を拾ふ、順次その数を増す。

この時幼児の自由にする時と命ぜられた色に限る時とあり。

### 遊び方、Ⅲ(色合せ)2.

直線に列ばせ、適當の距離を隔て、カードを散らし、更に隔て、同じ間隔に六つの圓をかく。圓の中には六色各々の目標となる色カードをあくか又は旗を立つ。

一、合圖で走り行きカードを拾ひ、それと同色の圓の中に集る。

一、拾つたカードを、それと同色の圓の中に入れて舊の位置迄走り歸る。なほ進んでは同一の圓に集つたカードの數へ方等も初まる。

是等は初めの間は色の觀念を明かにするため、色を間違なく合はせしめる事につとめ、漸次にその色と名稱が正しく結びつく様指導します。



以上の如く大抵指導者が全體にむかつて號令的に要項をいひ渡して、その通りに動作せしむる時は、自然この間命令を聽きわけける注意を養はれると思ひます。なほ此の程度の間は團體遊びとしても、殆どむづかしい規則のあるわけでもなく、又無理に勝負を定めるのでもないために極く幼児らしい活動が出来ます。

場所は戶外でのび／＼走りまはれる處がよろしいのですが、雨降りの日などは遊戯室で、又室の机の上で充分に面白く工夫を加へて遊べます。

色覺練習としてもなほ發展した遊び方がありますが、なほ是を數生活の指導の方面からみても色々面白い遊び方が考へられると存じます。

今春三月アメリカから贈られた可愛いお人形の御札に、日本全國の子供からあくられる倭日出子、東京花子さん達五十八人のお人形は四日に盛な送別會を明治神宮外苑の日本青年館でして戴いて、いよ／＼今日、天洋丸で横濱を出帆しました。友禪縮緬のお重ねに縹珍の帯の立派なきもの、お箆筒、鏡臺、長持、燭臺に繪日傘、お化粧道具までお持ちの日本のお嬢さま、何んなにかあちらで歓迎されることとせう。(十一月十日)